

# NPO AlaNuevo

特定非営利活動法人 アラヌエボ

# 経歴書

- 名 称: 特定非営利活動法人 アラヌエボ
  - 所 在 地: 長野県北安曇郡白馬村大字北城2843-11
  - 設立年月: 2005年4月6日
- 
- <白馬村地理的条件>
  - 白馬村は長野県北西部に位置し、周囲65.5km、南北16.8km、東西15.7kmの盆地です。
  - 日本の屋根といわれる3000m級の北アルプスを背にして標高700m高地に位置します。  
平均気温は、10度前後ですが、冬の1～2月には-20度前後となる日もあります。  
夏は30度以上になることもあり、寒暖の差が激しく、四季を見ると冬期間が長く、春夏が短い、全般的に湿度が少なく冷涼な気象。
  - 冬は、数多いスキー場をもち、ウィンタースポーツのメッカ。春夏秋の雪のない次期は、過ごしやすい気候もあって、サッカーやラグビーの合宿などに最適です。

# 設立趣旨

- 白馬村は全国的にみても自然環境に恵まれており、リゾート地として宿泊施設もそろっている中、1998年冬季オリンピックの会場地として、また、有数のスキー場があり、ウィンタースポーツの場としては名声があります。しかし、その反面、その他のスポーツを行う施設、環境については、乏しいものです。グリーンシーズンの観光のなかで、各種スポーツ合宿や、大会を行っています。しかし、スポーツフィールドの施設レベルの低下によって、白馬離れを起こしているという厳しい現状も存在します。地域の幼児、青少年たちのサッカー少年団も立ち上げて10年を超えましたが、夏季合宿集中時には、村営施設は合宿者優先となり地域の子供や、地域のアスリートたちにとってフィールド環境は必ずしも良いとはいえません。その現状を打開するため、欧米の地域スポーツクラブを参考に、サッカーを通じて、芝生の多目的グラウンド、クラブハウス等を建設・設置し、運営・管理をすすめることにより、地域住民への最高のスポーツ環境を提供することを基本とし、地域スポーツ文化の普及、指導者の育成をはかります。そして、老若男女、障害者健常者を問わず、全てのアスリートが安全、且つ楽しくプレーできるフィールドや、地域住民のコミュニケーションの場となるべきクラブハウスを含めてのトータルスポーツフィールドの普及、地域に根付くスポーツ文化の発信の場としての活動から、白馬村の観光、経済活動の活性化に寄与するべく、特定非営利活動法人アラヌエポを設立することとします。

## 役員

## 顧問

- 理事長 義煎 信也
  - 副理事長 柴田 謙二
  - 理事 中村 光志
  - 理事 土岐 達也
  - 理事 石原 洋一郎
  - 理事 勝野 幸男
  - 理事 稲田 良太郎
  - 監事 高橋 英一
- 丹羽 洋介 長野県サッカー協会会長
  - ミハエル キルシュテン ドイツオーバービーゼンタル市市長
  - 森 吉平 (株)アペックス代表取締役社長
  - アンチェ キルシュテン A&Z Hotels マーケティング マネージャー

# 事業内容

- ① サッカーを中心としたスポーツ及びカルチャー教室、スクールの運営
- ② 上記事業に関する指導者の派遣及び育成
- ③ 上記事業に関する大会、合宿、イベントの開催及び、宿泊施設の斡旋業務
- ④ 上記事業に関する講演会等の開催
- ⑤ 上記に関する、国際交流事業の企画、運営、斡旋業務
- ⑥ スポーツ関連施設に関する設計、施工、管理、受託業務、輸入業務、コンサルタント業務及び、マネジメント業務一切
- ⑦ 障害者とスポーツ、文化及び芸術とのふれ合いの場の提供
- ⑧ 上記事業に必要とされる、コンピューター、インターネット等を利用したIT業務全般
- ⑨ イベント、大会、文化教室へのスポーツフィールド及び、クラブハウスの貸出
- ⑩ スポーツイベント等における派遣業務及び受託業務

# 沿革

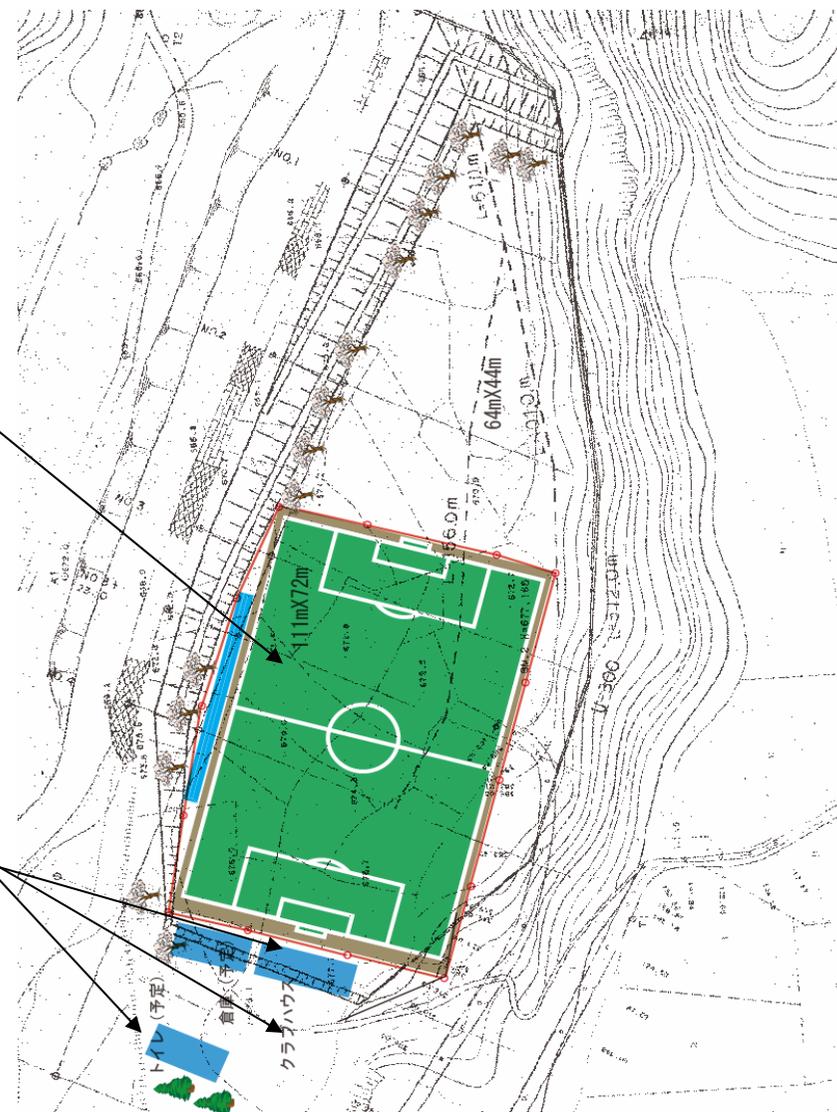
- 1994年 4月 NPO AlaNuevoの前身Alagrande F.C. 設立(小学校1年～3年)
- 1994年 4月 白馬村スポーツ少年団として活動を始める
- 1995年 4月 指導カテゴリーを小学校1年～4年までとする
- 1995年 7月 姉妹都市 河津FCとの交流事業始まる
- 1996年 4月 指導カテゴリーを小学校1年～5年までとする
- 1996年 4月 北安曇郡地域リーグ <安曇リーグ> 参加
- 1997年 4月 指導カテゴリーを小学校1年～6年までとする
- 1997年 8月 名古屋亀崎FCとの交流事業始まる
- 1998年 4月 指導カテゴリーでKIDS(就学前児童)を増設
- 2000年11月 ドイツオーバービーゼンタール及びフランクフルトサッカー  
キャンプ交流事業。ドイツ、タンネングリュンと交流試合
- 2002年 5月 地域学校、保育園へスクールキャラバンを開始。白馬南  
小学校・北部保育園・中部保育園・南部保育園へ派遣指導
- 2002年 7月 韓国ソウルFCとの交流事業

- 2003年11月 長岡JYFCとの交流を始める
- 2003年10月 ドイツオーバービーゼンタール交流事業にて、ブンデスリーガ2部アウエ及び、  
チェコチームと交流試合
- 2004年 4月 指導カテゴリーを中学3年までとする
- 2004年 4月 シニアチームアラグランデの設立
- 2004年 4月 **NPO AlaNuevo 設立準備委員会の開設**
- 2004年 5月 白馬村南部保育園へ派遣指導
- 2004年 6月 白馬村中部保育園へ派遣指導
- 2004年 6月 元全日本代表、遠藤雅大氏を招き、サッカークリニックを行う
- 2004年 6月 白馬村北部保育園へ派遣指導
- 2004年 6月 小谷村小谷保育園へ派遣指導
- 2004年10月 美麻村美麻保育園へ派遣指導
- 2004年11月 鬼無里村鬼無里保育園へ派遣指導
- 2004年11月 レディースチームアラグランデ設立
- 2005年 4月 **NPO AlaNuevo 設立**

- 2005年10月 ドイツオーバービーゼンタール交流事業にて、タンネングリユンKIDSチーム及びシニアチームをホームステイにて受け入れ
- 2005年10月 長野県コモンズ支援金事業からAlaNuevo グランド建設事業に助成金を受ける  
支援金：3,129,000 円
- 2006年 3月 AlaNuevoグランド第1期工事終了  
(ナイター設備8基、北側防球ネット工事、グランド整地工事)
- 2006年 4月 第2期AlaNuevoグランド工事開始  
グランド石拾い及び整地工事
- 2006年 6月 ワールドカップ観戦及び、オーバービーゼンタール交流事業
- 2006年 8月 ルンメニゲサッカーキャンプ参加及びオーバービーゼンタール交流事業
- 2007年 5月 第3期AlaNuevoグランド工事  
グランドへ土砂搬入及び整地工事
- 2007年 8月 日本体育協会 ドイツスポーツ少年団受け入れ事業
- 2008年 4月 グランド建設を完成を早めるために、AlaNuevoの事業を、グランド建設事業と他の事業を切り離す
- 2008年 6月 ナイター照明増設工事 (計画)
- 2008年 6月～ 9月 西側ネット設置工事 (計画)

# 施設概略

- **メイングラウンド 111m X 72m**
  - ナイター照明(現8基、8基増設予定)
- **クラブハウス (予定)**
  - トイレ (予定)
  - シャワー (予定)
  - 更衣室 (予定)
  - 会議室 (予定)
  - ラウンジ (予定)
- **駐車場**
- **倉庫(仮(トレーラーハウス))**
- **備品**
  - フットサルゴール
  - ゴール
  - コーン、マーカー



# 設備計画

## ■ 2009年度以降計画

- 西側防球ネット工事
- ナイター照明増設
- 芝生工事
- 井戸工事
- トイレ設置工事
- クラブハウス工事
- 倉庫設置工事

白馬村、北城新田地区のアラヌエボグランド(仮称)を、芝生化し、雪解後(5月初旬から、初降雪時前(11月中旬)を通して利用できるスポーツ環境に作り変えることにより、白馬村村内クラブ、少年団等の利用のほか、近隣宿泊施設、合宿者等への便宜を図り、地域の活性化及びグラウンドの安定運営を行うことを目的とする。

※ 設備は芝生のみでなく、水道、トイレ施設の充実をはかり、利用者にとって安全かつ利用しやすい施設とすることで、利用者の拡充をはかる。

# 事業予定

- AlaNuevo主催イベント
- サッカー大会の開催 U-6、U-10、U-14等（11人制にこだわらない）
- サッカークリニックの開催 シニアのためのクリニック(ルンメニゲ予定)他
- サッカーキャンプの開催 ウィンタースポーツとサッカーのコラボレーション他
- 地域宿泊施設の合宿者への貸し出し
- その他 利用希望者への貸し出し
- その他

